



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム

通信

No.19
2023年9~10月号



秋晴れが続く中、今年の秋は、急に夏日になったかと思えば、猛烈に冷え込んだり、寒暖差が激しく、毎日外出する時に着ていく服に悩んでしまうことが多くなかったでしょうか？それでも、やはり秋の晴れた空を見ているととても気持ちが晴れるものですね。

世田谷パブリックシアターの学芸部門の活動は、秋にはとても活発になります。まず、いつも行なっている「デイ・イン・ザ・シアター」に加えて小中高生が一緒に行く「子どもごちゃまぜワークショップ」も開催しました。たくさん子どもたちが参加してさまざまなコミュニケーションが生まれていく様はとても豊かな気持ちになります。

そして、劇場の外を飛び出して行く「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」もたくさん学校からお招きいただき、多くの子どもたちとワークショップを通じて自分の表現の仕方を伝えることができたと思います。中でも、ほっとすくーる「城山」は、不登校の状態にある区内小中学生が通っています。互いのことを知ったり、自分のことを話すきっかけを作ること、心の開放ができることを願って今年も訪問しました。また、通級の笹原小学校「目の教室」では、学芸会のための映像作品をつくる演劇ワークショップを行いました。視力が弱いために黒板の字が読めなかったり、教科書が読めない弱視の児童の皆さんが、みんなで集まって「どんな演劇が好きか」「どんな役柄を演じてみたいか」などを語り合うことで、先生が一つの脚本にまとめ上げてみんなで演じました。そこには「人のつながりを大切にしよう」「友情がこの世界で一番大切」と言う熱いメッセージが詰まっていて感動的なものになりました。

加えて、今年も世田谷中学校演劇発表会が開催されました。世田谷パブリックシアターでは、世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と教育委員会とが連携して、学校に演劇部がない生徒が集まり一つの作品を創作し成城ホールで発表しました。新型コロナウイルス禍で全校の発表を生徒たちが観劇できない状態がこの三年続いていましたが、今年はやっと全校参加で開催でき、大変な盛り上がりを見せました。互いの作品を讃えあう中学生の姿が心温まりとても印象的でした。

また、「ともにゃの部屋」では黒田真史さんの物語をご本人と一緒に、都内のみならず全国の小学校にもお呼ばれして公演を行いました。観てくれた生徒たちが、黒田さんと共に疑似で買い物をしてくれました。こうした体験は子どもたちの未来に大きな糧になるようで、大変嬉しい思いでした。

今年もあと少し、世田谷パブリックシアターの学芸活動はラストスパートで頑張りたいと思います。引き続きご支援よろしく願いいたします。

世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井 晃

11月12月のピックアップニュース 10月31日時点

*WS=ワークショップの略

子ども	11月12日(日)	『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期)	劇場で行う子どものための演劇WS
	11月19日(日)、23日(木・祝)、12月10日(日)	『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』	劇場で行う子どものための演劇WS
参加区民	11月10日(金)、12月16日(土)	『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS
地域連携	11月1日(水)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』京西小学校2年生	学校での演劇WS
	11月2日(木)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』旭小学校2年生	学校での演劇WS
	11月6日(月)、20日(月)、22日(水)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』上北沢小学校2年生	学校での演劇WS
	11月16日(木)、21日(火)、28日(火)、30日(木)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』千歳台小学校2年生	学校での演劇WS
	11月27日(月)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』烏山北小学校「きこえとことばの教室」	学校での演劇WS
	11月29日(水)	『世田谷区立小学校教育研究会児童文化部 実技研修』	教員研修
育専成門家	12月8日(金)、15日(金)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』芦花中学校2年生	学校での演劇WS
	11月9日(木)、30日(木)、12月7日(木)	演劇WSラボゼミ『演劇ワークショップの継続的な活動と可能性を思考する「実践記録」作成ゼミ』	WSの専門家庭教育ゼミ
その他	11月22日(水)	『ともにゃの部屋～黒田真史さん』福井県福井市立春山小学校4年生	文化庁・ユニバーサル公演事業
	11月29日(水)、12月6日(水)	『ともにゃの部屋～黒田真史さん』赤堤小学校3年生	文化庁・ユニバーサル公演事業
	12月13日(水)	『ともにゃの部屋～黒田真史さん』福岡県福岡市立有住小学校6年生	文化庁・ユニバーサル公演事業
	12月22日(金)	『ともにゃの部屋～黒田真史さん』神奈川県伊勢原市立成瀬中学校全学年	文化庁・ユニバーサル公演事業

2023年9月～10月学芸事業一覧

9月

- 1日(金) ● 山海塾『TOTEM 真空と高み』関連企画 特別上映会 区民参加 ★
15:00 上映作品『海の賑わい 陸(オカ)の静寂めぐり』
- 3日(日) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 2/16回目 子ども
13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 5日(火) ● 『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』(以下、『巡回団』)
弦巻小学校1年生 (～9月29日/全12回) (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 5日(火) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所
共催企画「劇団新風」3/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 8日(金) ● 『巡回団』二子玉川小学校1年生 (～9月12日/全3回) (進行役:田崎葵) 地域連携
- 9日(土) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 3・4/16回目 子ども
13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 10日(日) ● 『巡回団』給田小学校2年生 (～10月10日/全10回) (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 11日(月) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所
共催企画「劇団新風」4/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 12日(火) ● 世田谷アートタウン2023関連企画『目指せ! インクルーシブ大道芸プロジェクト その① オンライントーク』20:00～21:30 区民参加
(スピーカー:金井ケイスケ、東野寛子、吉田亜希、上ノ空はなび、ファシリテーター:栗栖 良依)
誰もがボーダーレスに楽しむことができる大道芸フェスティバルや劇場公演を目指した「インクルーシブ大道芸プロジェクト」の第一弾として、日本や世界で行われている取り組みを共有するためのオンライントークを開催。
日本における「ソーシャルサーカス」のパイオニアであるSLOW CIRCUSの皆さんを中心に、『三茶 de 大道芸』や世田谷パブリックシアターに馴染みのある方々と、インクルーシブ&ソーシャルな活動の事例についてトークを繰り広げました。
- 15日(金) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』九品仏小学校4年生 その他
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 17日(日) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 5・6/16回目 子ども
18日(月) ● 13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 19日(火) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所
共催企画「劇団新風」5/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 21日(木) ● 『巡回団』給田小学校2年生 (～10月10日/全10回) (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 22日(金) ● 『デイ・イン・ザ・シアター ～夏のまとも編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験WS 区民参加
15:30～17:30/19:00～21:00 だれでもデイ (進行役:とみやまあゆみ)
- 23日(土) ● 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 9月の秋の一日宇宙への旅編』 子ども
13:00～17:00 (進行役:富永圭一)
- 23日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーンケアクラブ」④ 専門家庭教育
- 23日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動番外編『ディスタクシオン』クラブ② 専門家庭教育
- 24日(日) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所
共催企画「劇団新風」6/7回目 13:00～17:00 (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 25日(月) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所
共催企画「劇団新風」公演 7/7回目 地域連携
10:00～11:30 奥沢まちづくりセンター
14:00～15:30 上野毛地区会館 (進行役:すずきこ一た)
社会福祉協議会(社協)が実施している事業「あんしん事業」「私のノート」「ふれあい・いきいきサロン」を周知すべく、世田谷パブリックシアターと社協とで実施する企画。高齢者の利用が想定されている3つの事業について、集まった大学生が利用者や社協職員の方々にインタビューを実施し、自ら学びながら演劇を創作。玉川地域の市民センター2か所上演し、多くの高齢者が鑑賞した。
- 27日(水) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 地域連携
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 27日(水) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」② 地域連携
- 28日(木) ● 『巡回団』ほっとスクール「城山」 地域連携
(～2月26日/全3回) (進行役:大道朋奈)
- 28日(木) ● 『巡回団』鳥山北小学校6年生 (全1回) (進行役:柏木陽) 地域連携
- 29日(金) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 その他
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 30日(土) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 7・8/16回目 子ども
1日(日) ● 13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 2日(月) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』桜丘中学校1年生 地域連携
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 4日(水) ● 『世田谷区立小学校教育研究会児童文化部 実技研修』 地域連携
13:45～16:30 学芸会・学習発表会の指導について (進行役:すずきこ一た)

栗栖良依さんをファシリテーターに迎え、スピーカーの東野寛子さんからは障害を持った方を中心に誰でも参加できるSLOW CIRCUSの活動について、吉田亜希さんからは子ども、高齢者、引きこもりなどを対象とした「瀬戸内みんなのサーカス」について、to R mansionの上ノ空はなびさんからは、エチオピアの貧困地域で非行防止や職業訓練として行われているソーシャルサーカス学校の事例を、金井ケイスケさんからは、松本でご自身が行われている活動やフランスやギアナの事例についてご紹介いただきました。

「夏のまとも」をテーマに、参加者同士で「今年の夏」「理想の夏」「いつかの夏」の夏の出来事を話し合っただけで劇を作りました。グループごとに聞きあった一人ひとりの夏の話をもとにして発表し、参加者からは「もう一度、夏を体験した気持ちになった」「色んな夏の思い出がアルバムみたいに見られて楽しかった」という声がありました。



「宇宙旅行ができるなら、どんな星に行きたいか」を話し合っただけで演劇を作りました。お菓子の木があって小人や巨人が住んでいる星や、サーモンやお金が成る木がある星など、バリエーション豊かな楽しい星々の劇が出来上がりました。



チラシを見て興味をもった地域住民の方に加え、民生委員や生活支援員の方など、午前午後あわせて50名程度の方が見に来てくれました。上演の中で、観客と大学生とが交流する時間もあり、「大学生や他の人と話す時間がよかった」「事業についてよくわかった」など、多くの感想がありがとうございました。



区立小学校の先生方に、学芸会・学習発表会指導の研修を行いました。はじめに、1クラスの児童たちに実際の学芸会指導を行い、その様子を先生方に見てもらいました。その後、質疑応答を経て、先生方に様々なワークを体験してもらい、劇場が学芸会支援を行うときにあたっての手法や考え方をご紹介しました。

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家庭教育 …… レクチャーや人材育成の取組 ★ …… 公演と連携しているプログラム

- 7日(土) ● 『うけいれる身体・うけいられない身体』 その他
8日(日) ● 穂の国とよはし芸術劇場PLAT
(進行・構成:柏木陽/出演:柏木陽、山本雅幸、有吉宣人、大塚由祈子、石田迪子)
7日(土) 14:30 公演
8日(日) 13:00～16:00『聞き書き体験ワークショップ』
2020年3月にシアターラムで上演した作品「うけいれる身体・うけいられない身体」を、穂の国とよはし芸術劇場(愛知)で再演。東京に住む60歳を超えた4名の重度脳性麻痺の方への取材から俳優たちが創り上げた作品は、市井の方々の声を表現にまとめるメディアとしての演劇の可能性を指し示すこととなった。
上演後は、ディスカッションの時間を設け、また翌日には豊橋市在住の3名の脳性麻痺の方へのインタビューからシーンを創るワークショップも実施した。
- 7日(土) ● 世田谷アートタウン2023関連企画
『目指せ! インクルーシブ大道芸プロジェクト その②
インクルーシブ講習会&ソーシャルサーカス・ワークショップ』 区民参加
(講師:金井ケイスケ、吉田亜希)
- 9日(月) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 9/16回目 子ども
13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 13日(金) ● 『巡回団』代田小学校2年生 (～10月17日/全4回) (進行役:柏木陽) 地域連携
- 14日(土) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 10/16回目 子ども
13:00～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 14日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動番外編『ディスタクシオン』クラブ③ 専門家庭教育
- 15日(日) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 11/16回目 子ども
13:00～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 16日(月) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』祖師谷小学校4年生 その他
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 16日(月) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」③ 専門家庭教育
- 18日(水) ● 『巡回団』旭小学校1年生 (～10月25日/全3回) (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 19日(木) ● 『巡回団』旭小学校2年生 (～10月27日/全6回) (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 19日(木) ● 『巡回団』上北沢小学校2年生 (～11月22日/全8回) (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 21日(土) ● 世田谷アートタウン2023『三茶de大道芸』 区民参加
22日(日) ● 「三茶の街を劇場にしよう!」と、街の活性化と文化芸術の発信のために、地元の商店街と世田谷パブリックシアターを含む世田谷文化生活情報センターが一体となり1997年より始まった大道芸フェスティバル。
街中で行われるパフォーマンスのほか、各商店街による模擬店や物産展、ゲームコーナー、占いコーナー、ボランティアスタッフによる装飾、手作りアート小物が並ぶ『アート楽市』などが開催されます。
- 21日(土) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』12・13/16回目 地域連携
22日(日) ● 13:00～17:00 (進行役:大道朋奈)
- 22日(日) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーンケアクラブ」⑤ 子ども
- 23日(月) ● 『巡回団』京西小学校2年生 (～11月1日/全6回) (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 24日(火) ● 『巡回団』祖師谷小学校2年生 (～10月31日/全6回) (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 24日(火) ● 演劇WSラボ『ラボ生トークシリーズ 酒井一途編』 専門家庭教育
18:30～21:00 (話し手:酒井一途)
演劇WSラボの研究員(ラボ生)に、自身の活動について語ってもらうトークシリーズ。研究員同士が互いの活動を共有し、それぞれの知見を交換して研鑽を深める場で、研究員のみに限った会として実施している。
今回はスピーカーに酒井一途さんを招き、「演劇(ワークショップ)は自分にとって何なのか?」という問いのもと、大学時代の演劇との出会い、その後どのような影響を受け、生きてきたのかを語ってもらった。
- 25日(水) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん』新宿落合第6小学校3年生 その他
*文化庁ユニバーサル公演事業
- 25日(水) ● 『巡回団』千歳小学校1年生 (～10月27日/全5回) (進行役:すずきこ一た) 地域連携
- 28日(土) ● 「世田谷区立中学校演劇発表会」(区大会) 技術支援 子ども レポート
- 29日(日) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 区大会本番
29日(日) 10:40 上演『ミュージカル 桃二郎』(進行役:大道朋奈)
- 30日(月) ● 『デイ・イン・ザ・シアター ～はじめましての演劇づくり編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 区民参加
15:30～17:30 だれでもデイ/19:00～21:00 はじめましての人だけデイ (進行役:柏木陽)

公演翌日のワークショップでは、作品創作で活用した「聞き書き」という手法を体験してもらった。ご協力くださった脳性麻痺の方には、普段は言葉にしない気持ちを言葉にしてくださいました。たまたま付き添いでいらしていたご家族の方は、ご覧になって「普段こんなことは言わないから…」と涙ぐんでおられました。



パフォーマーやワークショップのファシリテーターなどを対象とした「インクルーシブ講習会」と、障害の有無にかかわらず参加できる「ソーシャルサーカス・ワークショップ」を開催。エアリアル・ティシューや筒けなどサーカスの道具やテクニックを用い、参加者同士でコミュニケーションを取りながら、ゲームを楽しみました。



コロナ禍を経て4年ぶりの通常開催となった今年は、2日間とも晴天に恵まれ、街中が多くの来場者でにぎわいました。商店街や広場など13会場で30組を超えるアーティストによる大道芸が行われたほか、模擬店なども完全復活。世田谷パブリックシアターでは、ソーシャルサーカス体験コーナーや『フィアース5』の公開リハーサルも。



人と人を引き合わせる場づくりに取り組まれている酒井さんが、これまでどのように演劇(ワークショップ)と向きあい、自分の活動を展開させてきたのか、独特なペースで語られました。参加者もその酒井さんのペースにのり、自分の言葉とじっくりと丁寧に向き合いながらディスカッションしていたのがとても印象的でした。



夏の終わりに取り組んできた『ミュージカル 桃二郎』。暴力を使わずに、どうしたら鬼と人間が共存していけるのか、みんなで考えながら作りました。開演ギリギリまで、台詞を確認したり、劇中の歌やダンスの練習を繰り返していた中学生たち。緊張していた様子でしたが堂々とした姿で最後まで演じきり、晴れ晴れとした表情が見えました。



10月

レポート



「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」

～ほっとスクール「城山」と笹原小学校「目の教室」～

2003年度からはじまった世田谷区内の小中学校向け演劇ワークショップ事業「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」は、通常学級だけではなく、特別支援学級や教育支援センターなども訪問しています。

今回は、継続的にうかがっている、ほっとスクール「城山」と笹原小学校「目の教室」をご紹介します。

ほっとスクール「城山」

日程：全3回 9月28日(木)、11月27日(月)、2月26日(月)

進行役：大道朋奈

ほっとスクール「城山」は、心理的理由などにより不登校の状態にある区内在住の小中学生が通っています。幅広い年代の子どもたちが各自の状況に合わせて通っているため、顔をあわせる機会が少なく、交流が難しい環境にあります。2008年度より、劇場にご依頼があり、「集団活動の日」に、学年を超えて知り合い、自分のことを話さきっかけを作りながら、協力して演劇をつくる活動を行っています。本年度は、9月、11月、2月と3回伺います。9月は、「だるまさんがころんだ」などの馴染みあるゲームから身体表現を楽しんだり、お互いの共通点を探すゲームで仲間と知り合う時間をつくりました。11月、2月はさらに身体を動かしていく活動を予定していて、表現活動を通じて、仲間と関わり合うやり方を先生と一緒にさぐっていきます。

笹原小学校「目の教室」

日程：全3回 5月10日(水)、6月7日(水)、7月5日(水) 進行役：富永圭一

区立笹原小学校に設置されている弱視通級指導教室「目の教室」では、視力が弱いために学習や生活に困難のある区内外の小学生を支援しています。その取り組みや在籍児のことをよく知ってもらう目的で、笹原小学校の学芸会にて映像作品を上映されており、劇場では2010年よりご依頼を受け、継続的に作品づくりのお手伝いにつながっています。

今年度は5～7月に訪問、撮影し、そこから11月の学芸会に向けて先生とやり取りを重ねて作り上げていきました。「目の教室」は個別指導が中心となるため、全員が集まるのは1、2か月に1回程度の集団活動の日のみです。そのため、初回は仲良くなる活動からはじめました。次に表現活動と並行して、子どもたち一人ひとりと「どんな役を演じたいか」「その役の得意なことは？性格は？」などを進行役の富永さんと話し合う時間を設け、そこで出されたことを踏まえ、作品全体の方向性を先生と劇場側とで話し合い、先生が脚本にまとめました。次にいよいよ撮影です。各々、衣裳を身に着け、ワンカットワンカット気持ちを込めて演じていきました。「そばにいる人との絆を深めて、ひととのつながりを大切にしよう」「友達との友情がこの世界の1番大事なもの」など、「目の教室」の子どもたちからの熱いメッセージが詰まった作品が出来上がりました。



レポート



世田谷区中学校演劇発表会 技術支援

技術支援日程：6月～11月 区大会日時：10月28日(土)、29日(日) 参加校：8校

舞台担当：杉山陽洋、小松豊和、石川陽香、住谷ちひろ

照明担当：西倉淳、山崎哲也、石井宏之、大竹真由美、永井笑莉子 音響担当：相楽恭平、原嶋紘平

制作担当：塩原由香理 当日制作：恵志美奈子、九谷倫恵子

世田谷パブリックシアターでは、世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部(世中研)、教育委員会と連携し、秋に成城ホールで行われる世田谷区中学校演劇発表会(以下、区大会)への技術支援を行っています。劇場の技術スタッフ(舞台・照明・音響)と制作者の10名強が携わり、「中学生たちが自分たち自身で作品をつくりあげ、自分たちの力で上演までやりとげること」を大切にしつつ、舞台・照明・音響のプランニングやリハーサル・本番のサポート、また世中研の先生方が担う大会運営の支援を行っています。

本年度の区大会は、春先から運営について先生方と細かな調整を進めてきました。区大会の3週間ほど前には、各校から技術資料(きっかけが書かれた台本、舞台平面図、転換表、舞台監督計画表、照明計画表、音響計画表など)を提出してもらいます。これは中学生や先生方にとってとても大変な作業ですが、自分たちがどのような舞台をつくりたいかを考える大切な機会となります。この資料をもとに中学生と技術スタッフとで打ち合わせを行い、技術スタッフがプランを再構築した上で、各校上演前日に行うリハーサルにて、安全面が保たれているか、イメージ通りの照明になっているか、音響の音はどのくらいが良いかなどを中学生たちと確認していききました。そして迎えた本番。先生や教育委員会の方たちと協力し、会場運営や上演の進行、各校のサポートを行いました。3日間で全8校のリハーサル・本番を行うというタイトなスケジュールのため、各セクションがフル稼働で動いていきました。

区大会は、新型コロナウイルスのために2020年は中止、21年は無観客開催でした。22年は、午前・午後と区切って2～3校同士で見合い、自校の保護者のみ鑑賞できるという形になりました。そして今回、ようやく全参加校が鑑賞するコロナ前の通常開催に戻り、会場は大変な活気に包まれました。人と人が集う喜び、自分たちが頑張ってきたものを誰かに見てもらう喜び、そして、誰かのつくったものを受け取ることができる喜びにあふれ、互いの作品を称え合う中学生たちの姿が印象的でした。

